

ごあいさつ

加茂中学校は、2023年（令和5年）4月、山野・広瀬・加茂の3つの町を校区とし、全校生徒305名と教職員31名でスタートしました。

開校3年目となる今年度は、1年生98名と教職員10名を新たに迎え、全校生徒300名と教職員32名が協力・協働しながら、さまざまな活動に取り組んでいます。

本校の学校教育目標は、「ともに学び合い、高め合う」です。子どもたちだけでなく、教職員・家庭・地域を含めて、加茂に関わるすべての人々が子どもたちと一緒に教育活動に取り組み、ともに学び、成長していくという思いが込められています。

開校時から「地域とともにある学校」として、コミュニティスクールを導入し、学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実を図っています。地域素材を活用した教育活動の実践に力を入れ、これまで、藍染め・茶摘みなどの体験活動やワイン用ブドウ畑での網掛け作業、史跡等を訪ねるフィールドワークなど、地域の方々のご協力をいただきながら、山野・広瀬・加茂ならではの活動を実現しています。今年度は、「荒れた休耕田畑の増加」「農業継承者の不足」など、地域にある課題を解消するために、加茂でのサツマイモ栽培や山野での小麦栽培などを行います。

また、加茂中学校区にある加茂小学校、幼稚園・保育園・こども園と一緒に、「幼保小中連携」を実践しています。子どもや教職員の交流を通して、幼児期から小中学校までの遊び・学びをつなぐ取組を行っています。特に、加茂小学校とは1小1中で、共通の「めざす子ども像」として、「学びを楽しむ・学びを活かす子ども」「夢を語る・自分のことを語る子ども」を掲げ、義務教育9年間で育てるべき子どもの姿を共有しています。

このように、地域の方々と一緒に行う体験活動や、異年齢の子どもたちと関わる活動の成果として、子どもたちの非認知能力の向上が挙げられます。例えば、生徒会執行部のメンバーを中心に、昨年度の文化祭を「新しい発想」でこれまでにない形に創り上げたり、リーダーを中心に今年度の体育祭を「団結する力」で成功に導いたりするなどです。子どもたちは確実に成長した姿を見せてくれています。

とは言え一方で、「学力定着」「学習習慣」「ゲーム・スマホ依存」などの課題があるのも事実です。

私たち教職員は一丸となって、子どもたちの「できるようになりたい」「分かってほしい」「伸びたい」などの気持ちを引き出し、悩みに傾聴しながら、成長を支えます。子どもたちの限りない可能性を信じ、一人ひとりの力を最大限伸ばすよう、全力を挙げて教育活動に取り組む覚悟です。

しかし、もとより学校教育は、家庭・地域の教育の基盤のうえに成り立っております。

今後とも、さまざまな場面で、本校へのお力添えを賜りますようお願いいたします。

福山市立加茂中学校 校長 清水 修一